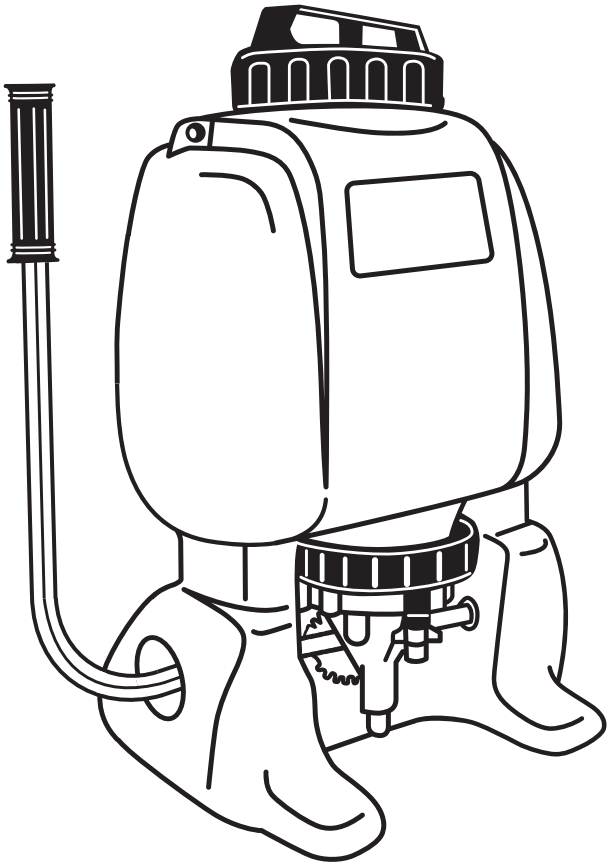
取扱説明書

樹脂背負い噴霧機

MLH10P, MLH15P



この度は、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- この取扱説明書には、事故を防ぐ重要な注意事項と本製品の取扱方法が指示されています。
- 本製品を使用する前に本取扱説明書を熟読し、十分理解された上で、ご使用ください。
- 本取扱説明書は必要なときにすぐに参照できるよう、大切に保管してください。
- 本取扱説明書が損傷や紛失により読めなくなった場合は、ご購入の販売店からお買い上げください。

お知らせ

- 本製品は液剤専用機です。
- 本製品は日本国内専用です。日本国内のみでご使用ください。

株式会社丸山製作所

680024640-26.04

○注意事項について

本取扱説明書で⚠の表示のある注意事項や機械に貼られた⚠の表示のあるラベルでは、安全上重要と考えられる取扱上の注意事項を次のように表示しています。

⚠ 警告 ･･･その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになります。

⚠ 注意 ･･･その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。

注意 ･･･その警告文に従わなかった場合、けがを負う恐れがあります。

安全のために必ずお守りください

⚠★作業の前に

- 次に該当する方は、この製品を使用しないでください。
  - 酒気をおびた者
  - 過労、病気、薬物（農薬を含む）の影響その他の理由により、正常な防除作業ができない者
  - 妊娠中の者
  - 満15歳未満の者
  - 負傷中の者、生理中の女性等農薬による影響を受けやすい者
- 作業前に接続部のパッキンに脱落のないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常のないことを確認してください。
- 安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。
- 薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。
- この製品を他人に貸与または譲渡する場合は必ず取扱説明書も添付し、取扱説明書を良く読むことを喚起してください。
- 薬害を起こす危険性がありますので、製品本体は防除、除草での兼用使用はしないでください。

⚠★農薬・薬液の取り扱い

- 防除、除草用の農園芸用薬品の散布、散水用途以外には使用しないでください。
- 調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく人体にも有害になる恐れがあります。
  薬液の調合の際は、農薬の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
- 安全性を損なう恐れがありますので、40℃以上の温水、発熱性の薬品は使用しないでください。
- 農薬は必ず専用の保管箱に鍵をかけて保管し、絶対に食品や食器とは一緒に保管しないでください。
- 誤使用、誤飲の危険がありますので、農薬は絶対に別の容器に移し替えないでください。

⚠★作業中

- 農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
- 水道、河川、水源地、池、沼、下水等を汚染しないように、また、人体や必要以外の作物、動植物にかからないよう風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
- 薬液を入れた状態でタンクを傾けると、タンクキャップの空気穴から薬液が出る場合があります。薬液タンクは傾けたり、落下させないでください。
- 作業中、作業後にめまい、頭痛を生じまたは気分が少しでも悪くなった場合には直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- 作業中に噴口部を清掃または交換する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、必ずコックを停止の状態とし、噴口部を取り外してから行ってください。

⚠★作業後と保管

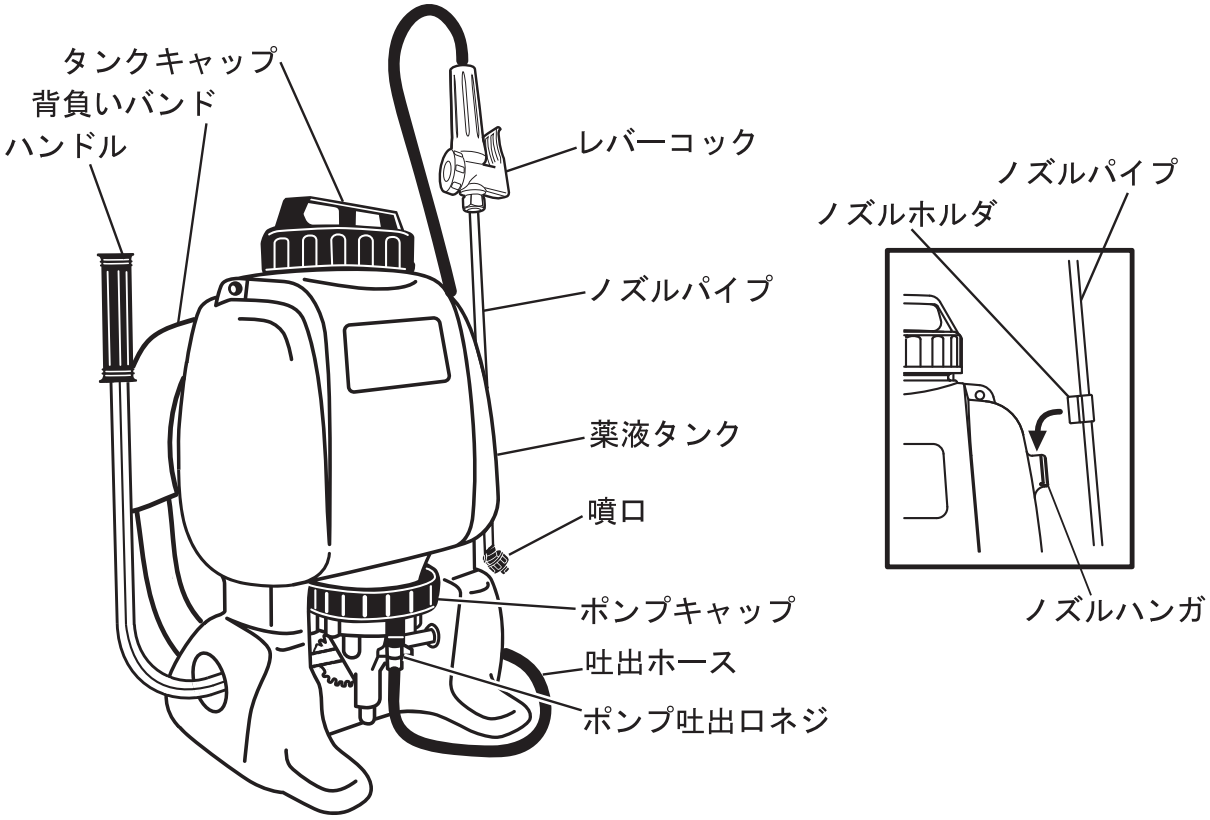
- ポンプ～ホースが加圧された状態で接続部を取り外すと薬液が噴き出す恐れがあります。接続部を外す前に周囲の状況を確認し、コックを吐出状態とし、ポンプ～ホース内の圧力を抜いてください。
- 作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに目の水洗いとうがいをしてください。また作業期間中は衣服を毎日取り替えてください。
- 余った薬液及び機械の洗浄水は、水道、河川、水源池、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処理してください。
- 使用後は充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 前回使用した薬液が、タンク、ホース、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。使用後は残っている薬液を充分に洗い流してください。

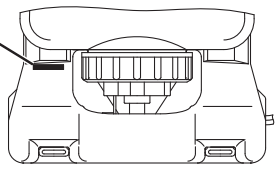
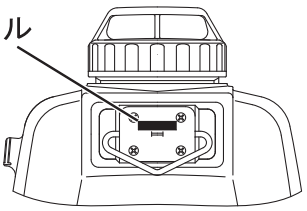
梱　包　部　品　一　覧

最初に梱包部品が全部そろっているかどうか、輸送中の事故で破損している部品がないかを確認してください。
もしも不具合な点などがありましたら、製品と共にお買い上げの販売店にお知らせください。

製品名：樹脂背負い噴霧機　　型　式 10ℓ:MLH10P　15ℓ:MLH15P	
品　　名	数量
本体部一式（背負いバンド、ハンドル付）	1
コック付吐出ホース　G1/4	1
ノズルパイプ　8-490　G1/4	1
樹脂縦型２頭口 G1/4	1
スーパー２５人力用１頭口 G1/4	1
取扱説明書（保証書付）	1

各　部　の　名　称



１０ℓモデル	１５ℓモデル
製造番号ラベル 	製造番号ラベル 

用　途

- 一般農園芸用薬品を用いた防除
- 除草剤の散布
- 散水
- 野菜、果実、草花等へのホルモン剤の散布

仕　様

型　　式	MLH10P	MLH15P
液容量（ℓ）	10	15
全容量（ℓ）	11.8	17.5
本機寸法（mm）	H545×W410×L190	H590×W410×L245
本機質量（kg）※1	4.5	5.2
常用最高圧力（MPa）	0.4	
タンク材質	高密度ポリエチレン	

※1）乾燥時質量です。
※2）改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

使　　用　　方　　法

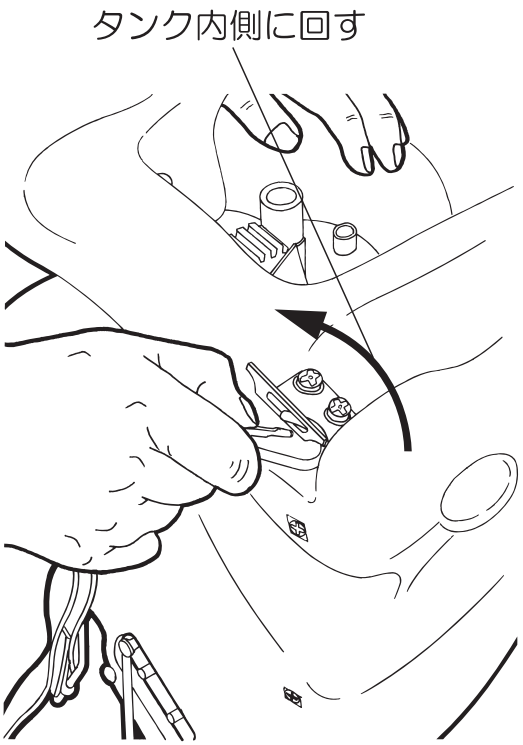
1．使用前の準備

①－１背負いバンド下部の取り付け【両機種共通】

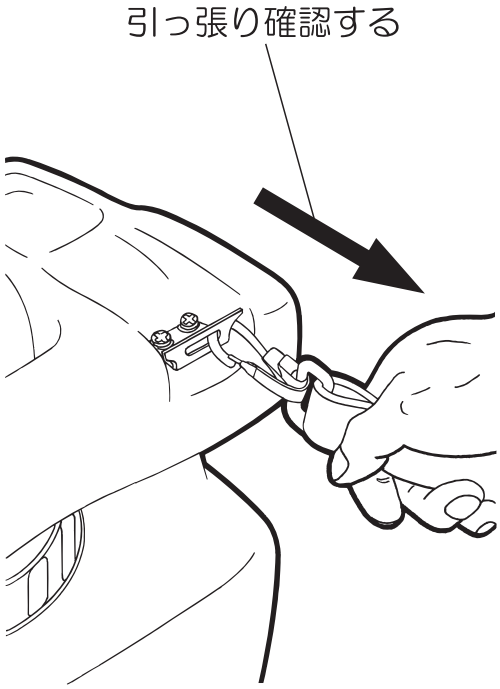
付属の背負いバンド下部のフックを次のように取り付けます。

1）バンド金具の外側のタンクとのすき間に、下図のように背負いバンドのフックを通します。





2）左図のようにフックをタンク内側に回し、フック先端をバンド金具の長穴に通します。



3）背負いバンドを引っ張りフックが確実に取り付けられていることを確認します。

4）背負いバンドを作業しやすい長さに調節します。

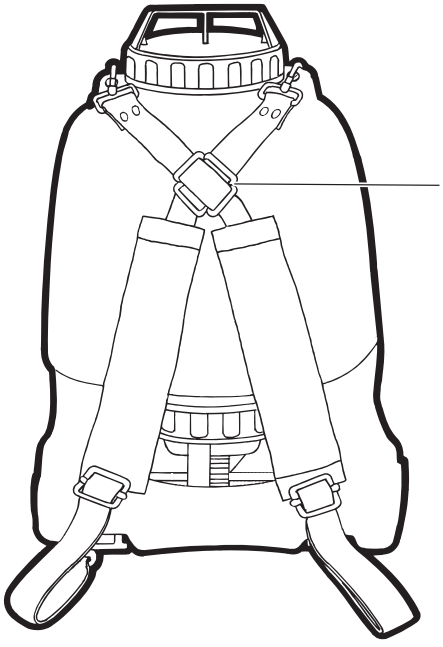
以上で背負いバンドの取り付けは完了です。
上記のように取り付けると本機を地面に置いたとき、バンドのフックが本機と地面の間にはさまらなくなります。

①－２背負いバンドの取り付け【10Lモデル】

付属の背負いバンドフックを次のように取り付けます。



１）付属した背負いバンドのバンドホルダ側のフックをタンク上部の穴に掛けます。（本製品は出荷時に取り付けてあります。取り付けが確実に行われていることを確認してください。）

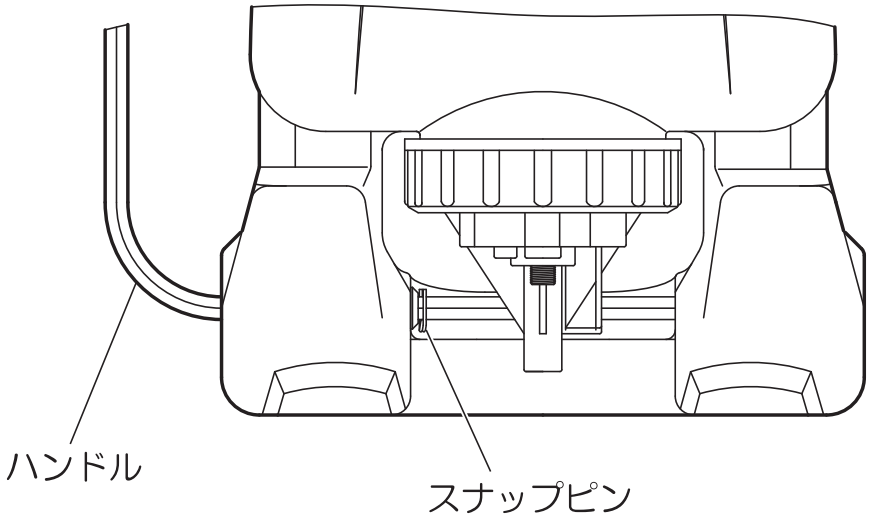


２）左の図のように取り付けられていることを確認してください。
また背負いバンドを引っ張り、取り付けが確実に行われていることを確認してください。

②ハンドルの調整

機能を最大に発揮させ、長くご使用いただくためにハンドルの位置を調整してください。工場出荷時は、標準の体位に合わせてあります。

・スナップピンを抜き、歯車の歯合いをずらしハンドル稼働位置を調整します。
・調整後はスナップピンを戻します。



※この背負い噴霧機のハンドルは左手操作専用です。右手操作への変更はできませんのでご注意ください。

2．作業の前に

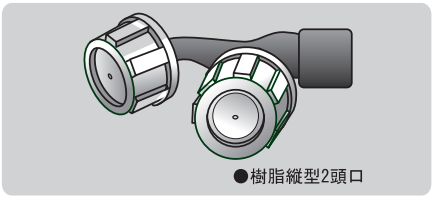
①部品の取り付け

ポンプ吐出口ネジにホースの蝶ナットをしっかり締め込み、ノズルパイプ、噴口の順番に接続します。

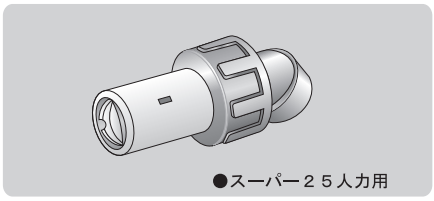
※各接続部にパッキンの脱落がないことを確認してください。
※各接続部は薬液の漏れがないようにしっかりと接続してください。
※吐出ホースに亀裂、摩耗、破損がないことを確認してください。

【噴口の主な用途】

●樹脂縦型２頭口
用途：一般防除用（殺虫剤、殺菌剤）


●樹脂縦型2頭口

●スーパー２５人力用
少量散布除草剤専用の噴口です。
発泡ノズルの為、散布跡が白く見え、まきむらや重複散布を防げます。
用途：少量散布除草剤用（10アール当たり25ℓ）


●スーパー２５人力用

②薬液の調合、充填

タンクキャップを外しストレーナを通して、調合した薬液をタンクに入れます。

⚠注意

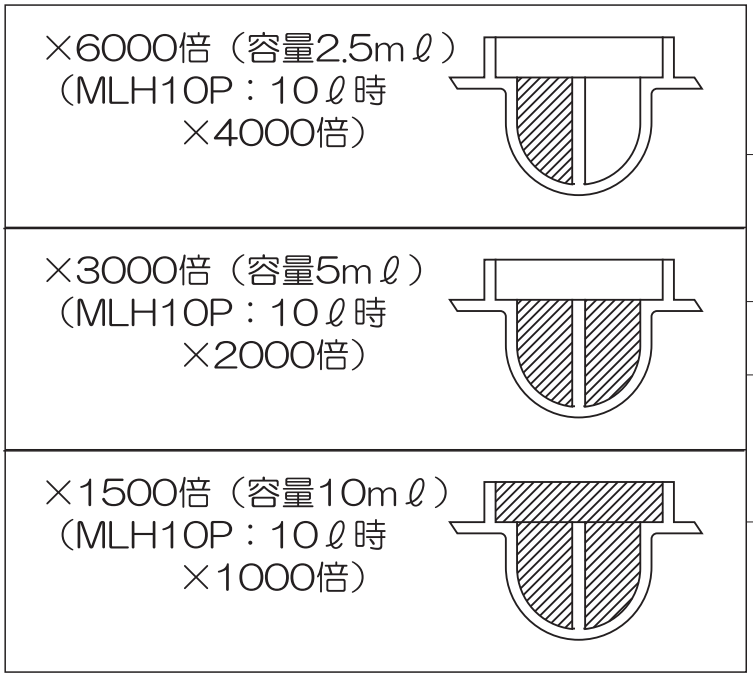
- 薬液は他の容器で調合してください。やむを得ず薬液タンク内で調合する場合は、必ず最初に水を所要量の半分ほど入れてから薬品を入れ、残りの水を入れ希釈してください。また、薬液の調合は、必ず薬品メーカの指示に従ってください。
- 薬液を入れる前にコックは必ず閉じた状態にしてください。
- 本機を背負う前にタンクキャップは確実に締めてください。
- 薬液を入れた状態でタンクを傾けると、タンクキャップの空気穴から薬液が出る場合があります。薬液タンクは傾けたり、落下させないでください。
- 薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。

重要

- 土壌消毒剤・土壌燻蒸剤は、故障の原因となりますので、使用しないでください。

③計量カップ付きストレーナの使用方法

計量カップはストレーナの裏面に装備されています。
希釈倍率はタンク満水時（MLH15P：15ℓ）の場合です。
下記の希釈倍率表を参考に使用してください。



水15リットルに対し希釈倍率2000倍の場合
各1杯で合計5mℓ+2.5mℓ
=7.5mℓ

水15リットルに対し希釈倍率1000倍の場合
各1杯で合計10mℓ+5mℓ
=15mℓ

希釈倍率表（単位はmℓ）

希釈倍率	100倍	200倍	400倍	500倍	1000倍	2000倍
5ℓ	50	25	12.5	10	5	2.5
10ℓ	100	50	25	20	10	5
15ℓ	150	75	37.5	30	15	7.5

⚠注意

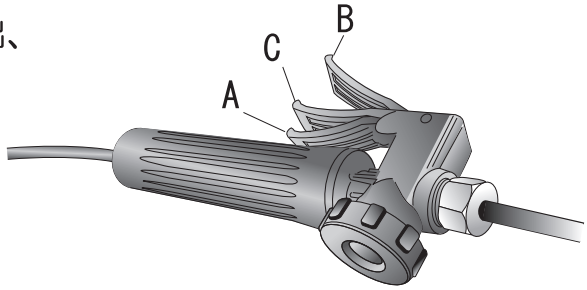
- 使用後は薬剤をきれいに排出後、清水で良く洗い乾燥させて保管してください。
- 余った薬液及び機械の洗浄水は、水道、河川、水源池、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処理してください。

３．作業方法

①コックの取り扱い

コックはレバーを操作することによって吐出、停止を切り替えできます。

- Ａの方向にレバーを握るとコックが開き、放せば霧が止まります。
- Ｂの方向にレバーを移動させると連続噴霧ができます。（霧を止める時はＣの位置にレバーを戻してください。）



⚠注意

- 噴霧作業中以外はコックを停止の状態にしてください。

②噴霧作業

⚠注意

- 約0.4MPaで作動する安全弁が付いていますが、無理な加圧は絶対に行わないでください。
- 加圧した状態で長時間放置しないでください。
- 薬品の吸入や付着による事故を防ぐため、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、保護衣、作業靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
- 作業中、作業後にめまい、頭痛を生じ、または気分が少しでも悪くなった場合には直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- 噴霧状態が悪化した場合など噴口部を清掃する場合は、顔面に薬液がかかる恐れがありますので、必ずコックを停止状態 にして清掃してください。

４．使用後の手入れと保管

①各部の洗浄

１）タンク内の残液を抜き、清水で洗い流してください。

２）再度タンクに清水を入れ、コックを吐出の状態でハンドルを操作してホース、コック、ノズルパイプ、噴口部に残った薬液も洗い流してください。
※完全に薬液が出終わるまでコックは噴霧の状態にしてください。

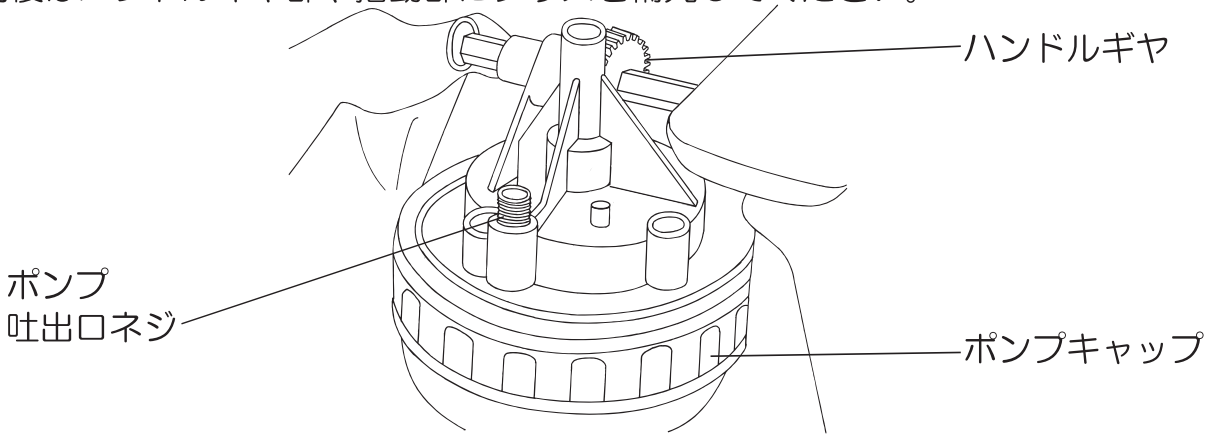
３）タンク、ポンプ部内の残液は,必ず吐出ホースを外し排水してください。

⚠注意

- ポンプ～ホースが加圧された状態で接続部を取り外すと薬液が噴き出す恐れがあります。接続部を外す前に周囲の状況を確認し、コックを吐出状態とし、ポンプ～ホース内の圧力を抜いてください。
- 余った薬液及び機械の洗浄水は、水道、河川、水源地、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
- 使用後は充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 前回使用した薬液が、タンク、ホース、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。使用後は残っている薬液を充分に洗い流してください。

②お手入れ

使用後はハンドルギヤ部や摺動部にグリスを補充してください。



③保管

本機洗浄後は、乾燥した布で水気を拭き取り、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。

⚠注意 ・子供の手の届かない場所に保管してください。

※プラスチック部品は直射日光に長期間さらされると、著しく強度が低下する場合があります。また、ラベル類も変色したり、はげやすくなったりしますので保管には充分注意してください。

故　障　と　対　策

不具合事項	原因	対策
ハンドルを操作しても加圧されない	ピストンパッキンの傷または摩耗	販売店にご相談ください
	安全弁パッキンへのゴミの付着または摩耗	販売店にご相談ください
加圧するハンドルが押し戻される	吐出弁パッキンへのゴミの付着または摩耗	販売店にご相談ください
ポンプ下部のラック部からの水漏れ	Xリングの摩耗	販売店にご相談ください
ポンプキャップ部よりの水漏れ	ポンプキャップのゆるみ	増し締めする
噴霧状態が悪い	加圧されない	販売店にご相談ください
	噴口のゴミ詰まり	清掃する

⚠注意 各部品の交換は、組み付けが不良の場合、事故になる危険がありますので、必ず販売店に依頼してください。

その他ご不明の点は販売店にご相談ください。

保　証　書

お客様	お名前　　様　TEL　　（　　）
	ご住所
販売店	住所・店名・TEL 印
保証期間	お買い上げ日 年　　月　　日　から　１年間
型式名	製造番号　No.

保　証　規　定

お買い上げいただきました弊社製品について下記の保証をいたします。

１．保証期間
　お買い上げ日から１年間とします。

２．保証の内容
　保証期間内に本機を構成する部品に、材料または構造上の欠陥が生じ、弊社がそれを認めた場合に限り、お買い上げの販売店で当該の取替えまたは修理を無料でいたします。
　なお、取り外した故障部品は弊社の所有となります。

３．保証できない事項
　保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
　（１）本書の提示がない場合。
　（２）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名も記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　（３）取扱説明書や本機に貼付されているラベルで示す取り扱い方法によらない使用、過失、点検不備、保管不備による故障。
　（４）弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
　（５）弊社が示す仕様の限度を超えて使用した故障。
　（６）純正部品以外の部品を使用したことによる故障。
　（７）消耗部品類。
　（８）弊社または弊社が認めた販売店およびサービス工場以外で修理した場合の故障。
　（９）天災、地変、火災、風水害、落雷その他不可抗力事故による故障や損傷。

４．本書は日本国内においてのみ有効です。
　This warranty is valid only in Japan.
　・保証書を紛失された場合、再発行いたしません。
　・この保証書は本保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。

MARUYAMA
株式会社丸山製作所　本社/〒101-0047 東京都千代田区内神田3-4-15 https://www.maruyama.co.jp
お客様相談窓口〈丸山サポートセンター〉無料通話 0120-898-114



しっかり点検?安心・長持ち?
末永くお使いいただくためにも
定期的な点検・整備をお勧めします。
詳しくはお求めいただいた販売店までお気軽にご相談ください。



本製品に関するお問い合わせなどは、ご購入の販売店にご相談ください。または、下記の全国共通の無料通話あるいは丸山製作所ホームページでもお受けいたします。

丸山サポートセンター
無料通話　0120 - 898 - 114
丸山サポートセンターホームページ
https://www.maruyama.co.jp/support/

受付時間　9:00 ～ 17:00(土、日、祝日を除く)

本製品に関してお問合せいただく際は、正確にご対応させていただくため、あらかじめ、下記の事項をご準備ください。

① 型式名、製造番号
② ご購入年月日
③ 販売店名

修理依頼、補修用部品・オプションのご注文は、
ご購入の販売店または取扱店へ依頼してください。

MARUYAMA

株式会社丸山製作所
本社 / 東京都千代田区内神田 3-4-15 〒 101-0047

この取扱説明書の部品番号は 478476
P/N. 478476-01 26.04